

言語活動の充実に関する実践事例

学校名（世羅町立世羅中学校）

- ① 教科等 外国語科 ② 学年 第3学年
- ③ 単元名 Program 3 Don't Ask Me That Questions!
- ④ 本時の目標 絵に描かれていることを受け身の文を使って表現し、その表現を使ってストーリーを作ることができる。
- ⑤ 学習の流れ（4時間目／全8時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 英語であいさつをする。		
2 めあてを確認する。	絵に描かれていることを受け身の文を使って表現し、その表現を使ってストーリーを作ろう。	
3 受け身の文型を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Key sentence となる文を作るための文型の確認をさせる。 ・ モデル文を提示し、達成目標を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受け身を用いて絵を説明する文を書くことができる。〔外国語表現の能力〕（ワークシート）
4 モデル文を確認する。		
5 個人思考する。		
6 集団思考する。		
7 全体場で発表をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピクチャーカードを見て、その場面に応じた受け身の文が正しく書けているか机間指導で個別支援をする。 ・ マッピングを用いて話を膨らませたり、情報の整理をさせたりする。 ・ まとまりがあり、相手に分かりやすく伝えるためのポイントを確認する。 ・ 個人で考えた文章を3人のグループでチェックさせ、さらに良い文章にするためにはどうすればよいか練り合いをさせ、修正をさせる。 	<p>《説明のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手を意識した文章・情報の整理・説明の順序（つなぎ言葉等）・簡潔で具体的に
8 個人思考する。		<p>《発表のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイコンタクト ・ 速度 ・ 音量
9 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体場で発表で出た意見などをふまえ、他者の良い点を取り入れて自分の文章を再構成させる。 ・ 再度説明のポイントを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な場面の状況を捉え、正しい語順や語法でまとまりのある文を書くことができる。〔外国語表現の能力〕（ワークシート・発表）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動を振り返らせ、自己評価シートに振り返りをさせる。 	

「言語活動の充実」

設定した言語活動を通して育てたい力

- コミュニケーションの具体的な場面や状況を捉え、正しい語順や文法を用いて文章を書き、情報を正しく伝えることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- どの様な文章を書けば良いか、表現をすれば良いか、というモデルを示す。
- 場面から想像できることを広げたり、情報を整理したりする際にマッピングを活用する。
- 集団思考において、3人のグループや全体でお互いに指摘したり修正したりさせることを通して、自分の文章を再構成させる。